

WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA AIRPORT since 29 July, 1974

2018～2019年度RIテーマ:「インスピレーションになろう」

ガバナー方針:「あなたの街でロータリーを!あなたの街からロータリーを!」

クラブ方針:「ロータリーを通じて幸せの輪をひろげよう」



インスピレーションになろう

名古屋空港ロータリークラブ

事務局

名古屋市中村区名駅4-3-10 東海ビル606号室

TEL(052)561-2405 FAX(052)571-2867

E-mail rongoapt@mta.biglobe.ne.jp

会長/ 山北 秀和

幹事/ 安川 正勝

公共イメージ向上委員長/ 近藤 和彦

例会日/毎週月曜日 12:30～13:30

例会場/キャッスルプラザ



空太くん



第1990回例会

2018年10月15日(月) 第11回

- 点 鐘 会長 山北 秀和君
- 斉 唱 「それこそロータリー」「もみじ」
- 例会行事 地区米山奨学委員会委員
牧 昌夫君
「米山記念奨学事業について」
- ビジター 近藤 太門君(春日井RC) 他1名
- 司 会 伊藤 康司委員

会長挨拶

名古屋空港ロータリークラブ会長 山北 秀和君



今月は、経済と地域社会の発展・米山月間です。前回は、よねやまについてお話させていただきましたので本日は、経済について少しお話しさせていただきます。

日本が現金決済から抜け出せないわけについてです。よく知られているように、日本は現金大国です。日本国内に流通する紙幣と硬貨の総額は GDP(国内総生産)の2割近くに達します、これは他の先進国と比較してかなり高いようです。欧米では、コンビニの買い物にもクレジットカードや電子マネーを使う人が多いので、街中で現金をあまり見かけなくなっています。高額紙幣については、ほとんど姿を消したといっておよいでしょう。

日本で現金決済がなくならないのは、日本人が現金好きということに加え、ATM 網の整備が進んでいるからだといわれています。現在、日本では約 20 万台の ATM が稼働しているので、ある程度、人が集まるエリアであれば手軽に現金を引き出すことができます。

しかしながら、便利でラクだと思っていた現金決済にも実は多くの落とし穴があります。確かに ATM 網は便利ですが、ここには多額のコストがかかっています。日本の金融機関は ATM 網の維持に年間 2 兆円のコストをかけています。このコストは手数料や金利の抑制など、何らかの形で利用者が負担しているわけです。

現金のコストはそれだけではありません。上記のコストはあくまで金融機関のものだが、小売店や飲食店など店舗側のコストを含めると金額はさらに増大します。

お店の忙しい時間に店員の 1 人が銀行に行ったままなかなか戻ってこないという出来事がありました。銀行は長蛇の列になっていたらしく、硬貨のセット(いわゆる棒金)が入手できなかったのだという事です。店主はその間、釣り銭がなくならないか、ずっとひやひやしていました。

日本の店舗では、釣り銭を確保するため、かなりの労力をかけて現金を準備しているわけですが、この作業に費やす手間や時間を金額換算した場合、相当な額に膨れ上がるでしょう。

日本では企業間取引の場合、請求書を発行して、翌月末などに銀行振り込みで決済するのは、ごく当たり前の方法です。要するにツケ払いが標準となっているわけですが、よく考えると、このやり方はリスクが大きいです。本来、製品やサービスを提供する側は、できるだけ早くお金が欲しいはずで、また製品やサービスを買った顧客が確実にお金を払ってくれるという保証はない。そうであるならば、小切手を受け取ったり、カード決済を確認してから商品を出荷する方が安全で合理的なはずで、実際、諸外国ではそうなっています。

相手に対する信用供与や回収といった、いわゆる金融業務は、カード会社など金融機関に任せ、自身は商品の

やりとりなど本業に集中した方が合理的です。
ところが日本では、確実に支払ってくれる保証がないにもかかわらず、ほとんどの取引を無条件でツケ払いにしています。しかも代金を振り込むため、従業員が金融機関のATMにわざわざ出向くことも多い（金融機関の法人向けネットサービスは貧弱で手数料が高いのであまり普及していない）。月末ともなるとATMの前は長蛇の列です。

一般的な事業会社が、金融業務まで行っているわけですが、このための人件費で企業の利益を圧迫していることとなります。

日本でも徐々に電子マネーが普及しており、現金決済を見直そうという動きが活発になっています。一方、メガバンク各行は、大規模な人員削減と店舗縮小を表明するなど、コスト削減が重要課題となっています。背景となっているのは各種フィンテックの進展です。当然、巨大なATM網も見直しの対象となってくるでしょう。一連の動きをセットで考え、これまでの商習慣について白紙で考え直してみるのも悪くないでしょう。

最後に告知をさせていて抱きます。次回例会は、グルメ特別所の日です。おいしいランチを用意いたしますので是非例会出席願います。以上会長挨拶とさせていただきます。

委員会報告

●出席報告（照井 通夫副委員長）

本日の例会					
会員数	51		出席率	91.67%	
出席者	出席義務者	30	欠席者	出席義務者	4
	出席免除者	14		出席免除者	3
	出席者計	44		欠席者計	7
前々回例会（9月16日）					
会員数	50		出席率	100%	
出席者	出席義務者	33	欠席者	出席義務者	0
	出席免除者	2		出席免除者	15
	出席者計	35		欠席者計	15

●ニコニコボックス報告（照井 通夫副委員長）

本日は卓話をさせていただきます。よろしくお願い致します。

地区米山委員 牧 昌夫 君

IMのご協力よろしくお願い致します。

春日井RC 近藤 太門 君

来年2月23日当ホテルにて開催されるIMに皆様のご協力をよろしくお願い致します。

春日井RC 日比 雄将 君

牧 昌夫君、卓話よろしくお願い致します。

IM実行委員長近藤 太門君、日比 雄将君、PRよろしくお願い致します。

山北 秀和 君

・牧 様、卓話宜しくお願ひします。

・近藤様、日比様、IM PRよろしくお願ひします。

安川 正勝 君

昨日はゴルフの皆さんに大変お世話になりました。ありがとうございます。

三治 明 君

久しぶりの例会に出席で来た喜びで。

伊勢村道雄 君

高山先生、内海さん、楽しくラウンド出来、おかげで優勝させていただきありがとうございました。

伊藤 康司 君

会長・幹事、錦の夜ありがとうございました。

加藤 吉克 君

今日も元気で！

石川 良治 君	石原 慎一 君	市川 孝 君
伊東 由之 君	稲熊 正徳 君	稲吉 将秀 君
井上 政秋 君	内海 辰巳 君	太田 哲郎 君
金井 和治 君	北園 守生 君	串田 正克 君
栗田 和典 君	近藤 和彦 君	柴田 和宏 君
杉本 敦永 君	武田 英昭 君	田中 秀典 君
田邊 雅彦 君	照井 通夫 君	友原 寛之 君
中島 俊朗 君	中林 正人 君	波多野 真 君
早川 正倫 君	原田 好展 君	堀場 竜司 君
真城 壮司 君	安江 寛二 君	山内 佳紀 君
山田 幹雄 君	プリヤンタ 君	

御協力ありがとうございました。

本日の協力	41名	77,000円
本年度の協力累計		489,000円

IM PR訪問



IM実行委員長 近藤 太門君

IM 実行委員 日比 雄将君

(春日井RC)

東尾張分区 IM

2019年2月23日(土)

14:00~19:00 於: キャッスルプラザ

卓話



地区米山奨学委員会委員
牧 昌夫君

「米山記念奨学事業について」

平素は、米山記念奨学事業に対しまして、ご理解、ご協力を頂きましてありがとうございます。

私は、地区米山記念奨学委員の牧昌夫と申します。東三河分区は豊川 RC より出向しております。

私自身、ロータリー歴も 10 年そこそこで、地区米山記念奨学会員会出向 2 年目と言う、若輩者の話になりますので、皆様方にどれほど説明できるかは不安であります。一生懸命頑張りたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

名古屋空港 RC 様は、中国の奨学生で名古屋市立大学の高天翔(コウテンショウ)さんがお世話になっておりました。本当にありがとうございます。

会場をお見受けしたところ、私よりも数段先輩のロータリアンの皆様が多くお見えになるので、まさに釈迦に説法であろうかと思っておりますが、これも役割と思っておりますようにお願いいたします。

若輩者ではありますが、一生懸命【米山事業】を伝えさせていただきます。

まずはじめに、10 分程度の DVD を見て頂きたいと思っております。

この DVD は 3 年前(2015-16 加藤ガバナー年度)の米山委員会の活動を記録した DVD です。

面接風景、オリエンテーション、春・秋の研修旅行、クリスマス会、期間終了式等の一年を通しての活動や奨学生・学友・指導教員の先生、いろいろな方々へのインタビューなどで構成されています。

【DVD 鑑賞】

米山の一年間の事業をご覧頂きたいかがでしてでしょうか。米山記念事業は、一言でいうと【人財育成事業】であります。

『人を育てる』ということは、『人が化けるのを助ける』ことであります。

この制度は、ただ単に奨学金を差し上げる制度ではなく、留学生の優れた学業の達成を支援し、同時に世話クラブ・カウンセラーとの交流を通じ、ロータリー精神を

学び、国際理解を深め、日本と母国の懸け橋となるなど、国際親善に尽くす人材を育てることであります。

ですから、この奨学金制度は貧困救済型の奨学制度ではありません。人材を育てるための奨学制度であります。

それでは、本日は皆様に配布頂いております、米山豆辞典を使ってお話をさせていただきます。米山記念奨学事業の概要

・ロータリー米山記念奨学事業とは (豆辞典 3 ページ参照)

日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し支援する国際奨学基金

・事業の使命 (豆辞典 3 ページ中段の四角枠)

将来、日本と世界を結ぶ『懸け橋』となって国際社会で活躍し、ロータリー運動のよき理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。

・では、なぜ外国人留学生なのか (豆辞典 3 ページ参照)

日本のロータリークラブ創始者、故米山梅吉翁の二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したいという強い願いからです。

将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるためには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそ、日本のロータリーに最もふさわしい国際事業ではないだろうか。

これが、当時のロータリアンたちの強い願いでありました。

奨学生選考

どのようにして、どのような学生を選考しているのか？

・採用人数・割当人数は (豆辞典 22.23 ページ参照)

2760 地区は、本年度・来年度 49 名と多くの割り当てを頂いております。

・地区の米山奨学生が決まるまで (豆辞典 22 ページ参照)

米山奨学生が決まるまでの流れが書かれています。

毎年 7 月に次年度の指定校選定・説明会、8 月募集開始、10 月締切、書類選考、同時に面接官のオリエンテーション、例年 1 月に面接。そして、合否の決定、4 月にオリエンテーションとなっています。

毎年、このようなスケジュールで奨学生を選考しています。

・カウンセラー制度 (豆辞典 4 ページ参照)

名古屋空港 RC クラブさんにも、カウンセラーでは大変お世話になっています。

米山奨学金制度が他の多くの奨学金制度と明らかに違う点は、このカウンセラー制度です。

奨学生一人ひとりに世話クラブが付き、世話クラブ会員のお一人がカウンセラーとなって頂き、日常の相談役もつとめて頂くという制度であります。

1971年(昭和46年)に、カウンセラー制度が出来ました。

当時は、学生運動が盛んで学校は混乱していました。

学生が学校でまともに授業を受けられない状況でした。

そこで、『米山奨学生の不安に対し、相談に乗ってくれる人を1人つけよう』ということでカウンセラー制度が出来ました。

ロータリアンの皆様には、カウンセラー制度の価値に気が付いていただけたと思います。

カウンセラーに注意して頂きたい点と致しましては、奨学生は『誓約書』にサインをした途端、義務を忘れがちな傾向にあります。

例会への出席義務・レポート提出などの書類提出義務・卓話の義務等のマネジメントをカウンセラーさんにはお願いしたいと思います。

場合によっては、奨学金の打ち切りなんてことにならないよう気に留めてあげてください。

先程のDVDでもお話になっておりましたが、大勢の奨学生を受け入れておられる名古屋大学の藤川教授は『留学制度自体、本来は日本のファンを作る事も大きな要因であるはずなのに、政府系奨学金などの多くは、お金を出すんだからとにかく勉強しろ！人と交流している時間があるならその時間を勉強しろ！』と、どちらかといえば人との交流は避けると言わんばかりであるが、この米山奨学会は、日本人との交流、それが故に、日本がより一層大好きになる。本来、国がやるべきことを、この民間の米山奨学会がやってくれている。』と大変うれしい言葉を頂いております。

我々は、『顔の見える交流』これが世話クラブとカウンセラー制度ではないかと思っています。

ご清聴、ありがとうございました。

ご清聴、ありがとうございました。

ゴルフ部会

第3回ゴルフコンペ
10月14日(日) 正眼寺 CC



優勝

伊藤康司会員 グロス 92
ハンディ 24 ネット 68



準優勝

安江寛二会員 グロス 83
ハンディ 14 ネット 69